

## 成人看護学演習Ⅰ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 6時間 演習 16.5時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

演習やグループワークを通して、成人期における健康障害をもった対象者の経過事例を用いて問題解決能力を養い、対象の状況にあった適切な看護技術や看護援助の実際を体験により学ぶ。また、学修した知識を看護実践に統合し活用する力を身に付ける。

### ・教育成果（アウトカム）

成人慢性期看護するうえで必要な概念・理論を学修することにより、慢性疾患をもつ人と家族の特徴が理解でき患者家族が抱える問題点を解決するための問題解決能力を養う。  
また、慢性疾患をもちながら生きる人と家族を支える看護を学び、生活者としての視点をもったセルフマネジメント及び生活の立て直しに必要な看護援助が説明できる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4

### ・到達目標（SBO）

1. 慢性の病とともに生きる人々とその家族を包括的にアセスメントする方法を考案できる。
2. アセスメントを統合して対象の全体像を理解し看護問題を明らかにすることができる。
3. 成人期の慢性疾患患者の看護問題に対して看護目標を設定し看護過程の展開ができる。
4. 慢性期看護に必要な看護技術を演習を通して理解でき、指導のもと安全に実践できる。
5. 成人を対象とした健康教育の方法を学び、ケアにいかすことができる。
6. 病気や障害と共に生きること、死に至る経過について自分の考えを述べることができる。

・授業日程

(矢) 西 1-B 講義室  
(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/3	木	3	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝 特任准教授	慢性期にある患者の状態に応じた看護過程の展開 ・提示された事例を通して情報収集、アセスメント、看護上の問題点を抽出できる ＜講義・グループワーク＞
6/4	金	1	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝 特任准教授	慢性期にある患者の状態に応じた看護過程の展開 ・提示された事例を通して情報収集、アセスメント、看護上の問題点を抽出できる ＜講義・グループワーク＞
6/8	火	3	共通基盤看護学講座	伊藤 奈央 講師	進行期のがん治療を受ける患者・家族への看護援助 ・がんサバイバーシップの理解、移行期のケアが理解できる ＜講義・ディスカッション＞
6/8	火	4	共通基盤看護学講座	伊藤 奈央 講師	終末期における患者・家族への看護援助 ・患者・家族の意思決定支援について倫理原則をふまえて考察できる ＜講義・グループワーク＞

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/10	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	患者教育ロールプレイ ・ロールプレイを通し、行動変容に結び付く患者教育の方法を学ぶことができる<ロールプレイ>
6/10	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	患者教育ロールプレイ ・ロールプレイを通し、行動変容に結び付く患者教育の方法を学ぶことができる<ロールプレイ>
6/17	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	糖尿病看護の実践 フットケア演習 ・足の観察、アセスメントができる ・フットケアの視点が理解できる ・糖尿病看護におけるフットケアの意義、特徴が説明できる
6/17	木	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	糖尿病看護の実践 フットケア演習 ・足の観察から、対象の生活を聞くことができる ・足の観察、爪切り、爪へのやすりのかけ方が指導のもと安全に実践できる
6/21	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	糖尿病看護の実践 ・インスリン自己注射の適応、目的、方法を説明できる ・インスリン自己注射指導の流れが理解できる

6/21	月	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	糖尿病看護の実践 ・感染と安全に配慮してインスリン自己注射指導ができる ・人工皮膚を使用したインスリン自己注射を根拠に基づいて実施できる
6/28	月	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	慢性疾患患者の看護過程の展開事例発表会 ・事例を通して具体的な援助の方法を計画・立案し、看護問題に対して看護目標を設定し、看護過程の展開ができる<グループワーク>
6/28	月	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	慢性疾患患者の看護過程の展開事例発表会 ・事例を通して具体的な援助の方法を計画・立案し、看護問題に対して看護目標を設定し、看護過程の展開ができる<グループワーク>
7/2	金	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	終末期の看護 ・喪失体験のシミュレーションを行うことで、自らの死生観を考えることができる
7/2	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	終末期の看護 ・グループワーク、全体ディスカッションを行い、終末期の患者・家族の思いを理解することができる
7/6	火	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 伊藤 奈央 講師	終末期の看護 エンドオブライフケア ・演習を通して、自己の人生観、死生観を深めることができる ・他者の人生観、死生観を理解できる

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	成人看護学 慢性期看護論 第3版	鈴木志津子、藤田佐和 編集	ヌーヴェルヒロカワ	2019
教	系統看護学講座 別巻 緩和ケア 第3版	恒藤暁、田村恵子 編集	医学書院	2020
教	系統看護学講座 別巻 がん看護学 第2版	著者代表 小松浩子	医学書院	2017
教	看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護学概論 改訂第3版	林直子 他編	南江堂	2019
参	成人看護学 成人看護学概論 第2版	大西和子、岡部聡子 編集	ヌーヴェルヒロカワ	2009

・成績評価方法

1.定期試験 80% 2.レポート 20% の合計 100%で評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

- ・シラバスに記載されている授業内容及び到達目標を確認し、教科書で予習したうえで授業に臨むこと（各授業については最低 30 分の事前学習を要する）。
- ・成人看護学で学ぶ範囲は広い範囲に及ぶため、病態生理で学んだことを振り返りながら授業に臨むこと。
- ・グループワークでは、自分の考えを整理して相手に伝えることで、他者の考えを知る機会となるため、積極的に参加すること。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

レポート等の課題は、適宜コメントを付し返却する。

**【演習方法について】**

- ・グループワークを取り入れ、伝える力の強化を図る。
- ・演習は評価表に基づき評価し、後日学生にフィードバックする。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
演習	爪切りニッパ-型爪やすりゾンデ付	24	フットケア演習
演習	人工皮膚パッド シリカゲル注射練習用	48	フットケア演習
演習	打腱器（ハビンスキ-式）	24	フットケア演習
演習	音叉（ル-ツェ C 調節子付き 128Hz）	24	フットケア演習